

玉井小学校区ハートフル・ミーティングの概要

- 1 日 時 平成 25 年 4 月 27 日（土）午後 2 時から午後 4 時
- 2 場 所 玉井公民館
- 3 参加者 47 人
- 4 会議の概要

（1）自然の豊かさがあふれるまち

市民

私が住んでいる籠原駅北東部には、現在新築中の家がたくさんあります。しかし、この地区のごみ集積所は、現時点でもう一杯です。これ以上利用者が増えると、ごみを置ききれなくなります。そこで、新しく家ができるときには、建築確認の段階で、ごみ集積所も設置するようにと指導をしていただけないでしょうか。

市長

まとまった戸数の家を建てるという開発許可の申請があると、許可要件の一つとして、ごみ集積所も設置するようにという指導をしております。ただ、お話を頂きましたように、開発許可が不要な場合には指導ができませんので、自治会と建築主との間で直接相談をしていただくのが一番ですが、中には建築主が分からなくて相談できない場合もあると思います。そういった場合には、市で建築主を調べて皆さんとの間に入って御相談をさせていただくこともできますので、御一報ください。

市民

^{ほじょう}圃場整備※がまだの所では、農地に至る道が細かったり、農地自体が狭かったりして、借り手が付かずに耕作放棄地となっている所があります。そこで、一般の方向けに家庭菜園として貸し出すことを考えているのですが、そのための御指導や御支援をしていただけませんか。

※ 圃場整備：圃場（水田、畑）の一枚一枚に農業用水路、道路を配置し、区画を大きく整形し、効率的な農作業と生産性の高い農地を造成すること

市長

市や JA ではなく、個人や自治会として農地を貸し出すには、幾つか法的な手続が必要です。詳しくは、農業振興課にお問い合わせください。

なお、耕作放棄地を減らすためには、現在、農業委員さんが大変熱心に取り組んでくださっています。また、市でも農林水産省の「農地・水保全管理支払交付金※」という制度を県内で一番多く活用してこの問題に取り組んでいるほか、市独自の補助事業※を始めたり、ふれあい農園（市民農園）を増やしたりしているところです。

※ 農地・水保全管理支払交付金

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/nouti_mizu/

※ 市独自の補助事業：耕作放棄地解消対策事業

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kakuka/sangyo/nougyoshinkou/oshirase/H25hojojigyo.html>

※ ふれあい農園

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/faq/10/nougyo/hureainouen.html>

市民

魚や水鳥、^{まんじゅしゃげ}曼珠沙華の花などが見られる田んぼやその周辺は、市民にとって自然を感じることでできる憩いの場です。圃場整備は生き物の生態系などに影響があると聞きますが、市では自然環境の保全にどのような配慮をしていますか。

市長

確かに圃場整備をすると、蛇行して流れていた昔ながらの川がまっすぐな用排水路に変わってしまいます。しかし、長い目で見ると、耕作しづらい農地をそのままにして耕作放棄地が増えていくよりも、圃場整備をして耕作される農地を増やした方が、結果として農村の自然を将来に残していける気もいたします。おっしゃることは私どもも十分に理解しておりますので、いろいろな面から考えていきたいと思っております。

市民

市では、ムサシトミヨ[※]を保護するための補助事業をされています。同じように絶滅危惧種に指定されているクマガイソウ[※]を保護するために行っている取組があれば教えてください。

※ ムサシトミヨ

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kanko/meibutsu/tomiyo.html>

※ クマガイソウ

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kanko/meibutsu/kumagaisou.html>

市長

ムサシトミヨは「県の魚」と「市の魚」に指定され、県と市が協力して保護活動を行っています。具体的な市の取組としては、生息区域の水質を良くするために、周辺地域で合併処理浄化槽に転換する場合の補助額を通常の倍にしています[※]。クマガイソウに対しては、このように直接的な保護活動は行っていません。少し研究をさせてください。

※ 合併処理浄化槽設置補助制度

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kakuka/kankyo/kankyoeisei/oshirase/joukasou-setihojo.html>

市民

市内のごみ集積所で使用されている散乱防止用のネットは青色です。テレビで「黄色いネットはカラスよけの効果がある」と取り上げられていました。熊

谷市でも導入してみたいはいかがでしょうか。

環境美化センター所長

市（窓口：環境美化センター）で無料配布しております青いネットは、安価な農業用のネットです。それに比べると、黄色いネットは高価な上、環境美化センターで調べた限り、あまり効果が得られないようです。

市長

それでは、近隣の実例を始め、いろいろな情報を集めてみたいと思います。貴重な御意見をありがとうございます。

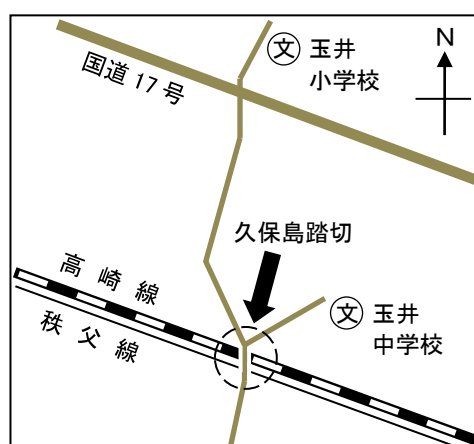
（２）便利で快適な人にやさしいまち（主に都市計画）

市民

現在、玉井小学校と玉井中学校の通学路上にある久保島踏切の拡幅工事が行われています。この工事の進捗状況を教えてください。

市長

当初は平成 25 年 4 月の新学期に間に合わせたいと思っておりましたが、予定よりも時間がかかっています。5 月中には工事が完了する予定です。



市民

小学校から半径約 500m 以内で、通学路の重点的な交通安全対策を行うと聞きました。久保島地区から玉井小学校までは距離が離れているので、もう少し範囲を広げていただけませんか。

市長

学校に近い所ほど、たくさん子どもたちが通りますので、一つの目安として半径 500m という設定をしました。前段階として、全ての小学校で危険な場所の調査を行い、より危険度の高い学校から集中的に対策を行っています。具体的には、グリーンベルトや防護柵（ガードレールなど）の設置などを進めています。もちろん、それ以外の場所には手を付けないということではありませんので、御心配な場所があれば、市の担当者まで御連絡ください。なお、平成 24 年度は通学路の交通安全対策に約 6 千万円の予算をかけたが、平成 25 年度は 8 千万円に増額して取り組んでおります。

市民

近所で急病人が出て救急車が呼んだとき、受入先の病院が見つからなくて、

なかなか発車しなかったそうです。また、市内では受け入れてもらえず、市外の病院に救急搬送されることもあります。命に関わることですから、迅速に市内の病院だけで対応できるようになりませんか。

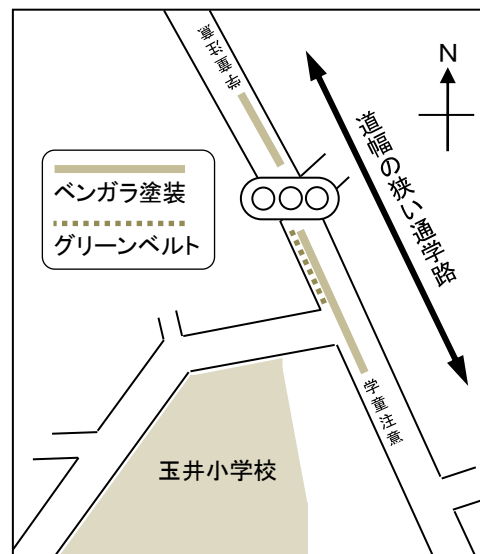
市長

最近では医師不足のため、休日や夜間に救急患者を受け入れられる病院が少なくなってきました。これは本市に限ったことではなく、どこも同じ悩みを抱えています。そこで、近隣の市や町でお金を出し合って医師を確保したり、お互いに救急患者を受け入れ合ったりするようにしています。また、平成25年に熊谷総合病院に新しい救急棟ができ、その分、本市の救急医療体制も向上しましたが、依然として厳しい状況にあることは私どもも認識しております。なるだけ短い時間で救急搬送ができるように、今後も広域で計画的な対応に努めていきたいと思っております。

市民

近所に、道路の幅が狭くて救急車が入れない場所があります。以前、そこにあるお宅で急病人が出たときは、何十メートルも担架に乗せられて救急車まで運ばれたそうです。道路の幅を広げてもらえるようにという陳情は既にしてありますが、早急な対応をお願いいたします。

また、玉井小学校の北側にも道幅が狭くて大変危険な通学路があります。路側帯にグリーンベルト（緑色の路面標示）を設置してもらったり、車道にベンガラ（赤色）塗装をしてもらったりはしましたが、道幅を広げてもらうのが一番効果的です。道路沿いの地権者の方も塀を後退させてもよいと言ってくれていますので、こちらの対応もお願いいたします。



市長

道路の拡幅には、地権者と自治会の皆さんの御協力が必要です。手続としては、土地の権利関係を明確にいただいた上で、土地の譲渡承諾書と拡幅の要望書をあわせて提出していただくこととなります。土地は非常に安い価格で買い上げさせていただくこととなりますが、塀や生垣などの構造物は補償できます。

ただ、道路の拡幅は既にたくさんの要望を頂いております。受付順ではなく、重要性の高い所から対応させていただくのが一番公平であると思っておりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

市民

車を運転していて危険に思うのは、高齢者の自転車運転です。体が言うことを聞かなくて振り返るのが大変だからと、後方確認をせずに突然飛び出してることがあります。そこで、自転車にサイドミラーを取り付けるよう条例で義務化するか、購入費の補助をしてはいかがでしょうか。

市長

道路交通法上、目視による後方確認をしなくてもよいのか、また、サイドミラーでどれだけ確実に後方が見えるのかなど、幾つか気になる点がありますので、調べさせてください。また、警察とも協議をさせていただきたいと思えます。

市民

空き家や空き地の中には、放置されて雑草が生い茂っていたり、防犯上問題のある場所があったりします。空き家や空き地の管理に対しての条例の制定や行政指導について、市の考え方をお伺いしたいと思えます。

市長

罰則を設けたとしても、実効性に課題があり、その制定は現実的に難しいのが現状です。むしろ、御心配な所があれば遠慮なく市に御連絡ください。市で所有者を調べて適切な管理をしてもらえるように連絡をしたいと思えます。

市民

別府 4 丁目地内にある空き地がずっと放置されていて、雑草の花粉で健康被害が起きたり、不審者が潜んでいると危ないので子どもが近くを通れなかったり、枯れ草火災が発生する恐れもあります。そのため、自治会長さんや市の環境衛生課の方、消防長さんから地権者の方に何度も話をさせていただきましたが、なかなか対応してもらえません。いっそ自分たちで草を刈ろうとも思うのですが、環境衛生課の方にお聞きすると、地権者の許可なしでは難しいとのこと。何か良い方法はないでしょうか。

市長

お話の内容はよく分かりましたので、いろいろと知恵を出して考えてみたいと思えます。

市民

県営玉井団地の中に、ゆうゆうバス[※]のバス停を造ってもらえませんか。また、別府荘にも行ける路線にさせていただけると助かります。

※ ゆうゆうバス

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kakuka/sogo/kikaku/koutu/yuuyubasu.html#cms774A3>

※ 別府荘

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/shisetsu/koukyo/fukushi/roujinnfukushisennta.html>

市長

今ある路線の途中にバス停を一つ増やすことなら可能かもしれませんが、今回の場合は、経路を大きく変える必要があります。そうすると全体の運行時間が長くなってしまい、利用者の利便性を考えると難しいと思います。現在、玉井団地の近くには民間のバスも通っておりますので、お許しを頂きたいと思います。

市民

熊谷貨物ターミナル駅周辺の開発計画がどうなっているか教えてください。

市長

以前、日本製紙物流(株)が物流センターを造るという話がかんりの所まで進んでおりましたが、東日本大震災に伴う企業側の都合で残念ながら中止になってしまいました。しかし、企業を誘致して物流の拠点にし、雇用の確保や税収の増加を図っていききたいという市の考えに変わりはありません。皆さんに良い報告ができるように、今後も努力を続けてまいります。

(3) 地域活動等の報告

市民

玉井小学校区の地域活動について、簡単に紹介をさせていただきます。平成24年度は、グラウンドゴルフ大会を始め、親子サマーキャンプ、オ・ドーレ玉井宿、ヤキイモタイム、納涼祭、曼珠沙華の里まつりなど、様々なイベントを実施しました。自治会やPTA、子ども会、おやじの会、明星会などが協力し合い、子どもから高齢者の皆さんまで、たくさんの方に参加して楽しんでいただくことができました。どうぞこれからも皆さんの御参加・御協力をお願いいたします。

○ 市長のまとめ

今日は長時間にわたって御協力を頂き、ありがとうございました。頂きました御意見や御要望につきましては眞摯に受け止め、的確に伝えていきたいと思っております。

この玉井地区は籠原駅に近いこともあり、道路などの都市基盤の整備が進んでおりますので、こうしたものを利活用しながらまちづくりのために寄与できればうれしく思います。

玉井地区の皆さんにおかれましては、今後も高齢者の皆さんや、特に子どもたちに、温かいまなざしをおかけくださいますようお願いをしまして、御礼の言葉といたします。今日は本当にありがとうございました。